

出版記念 フォーラム

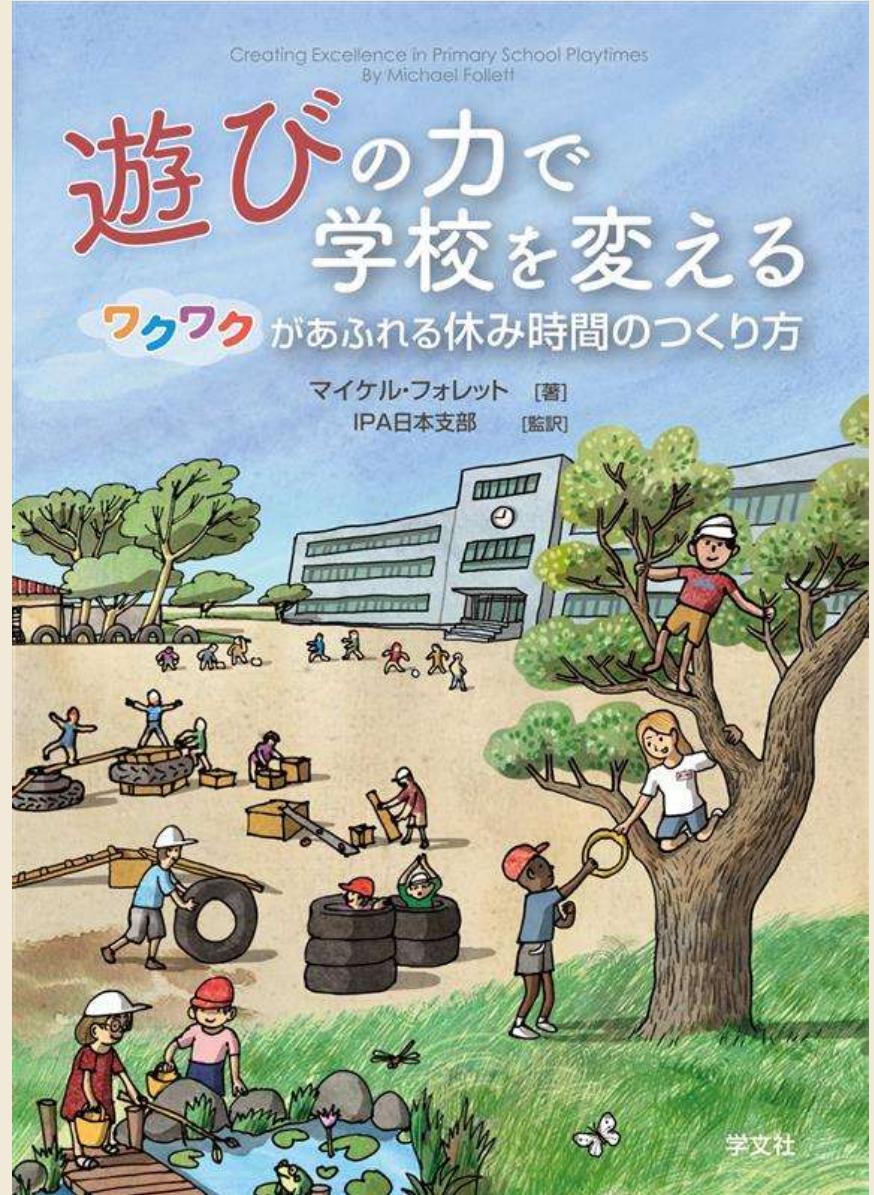
英国発の取り組み

OPAL (Outdoor Play and Learning) は、学校における屋外遊びの質を高め、子どもたちの主体的な育ちを支える実践として注目されています。

IPA日本支部では、OPAL開発者である Michael Follett氏の著書の日本語版出版を記念し、同氏による講演と、日本の学校への導入をテーマとしたトークセッションを開催します。

学校や子どもの遊びに関心のある皆様、ぜひご参加ください。

**学校の「休み時間」を
子どもが育ち 先生の心にも
余白が生まれる時間へ**



日時：2026年2月15日（日）13:30～16:30

場所：日比谷図書文化館

日比谷コンベンションホール（大ホール）

【オンライン配信あり】

主催：IPA（子どもの遊ぶ権利のための国際協会）日本支部 <https://www.ipajapan.org/>

後援：公益社団法人こども環境学会、

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

本フォーラムは、大和日英基金の助成により実施いたします。



第Ⅰ部：『Creating Excellence in Primary School Playtimes:

How to Make 20% of the School Day 100% Better』

の著者Michael Follett氏による講演

第Ⅱ部：日本の学校に関わる方々によるトークセッション

パネリスト：鈴木はつみ氏（山梨ぶどうの会代表）

野井真吾氏（日本体育大学教授）

眞砂野裕氏（東京都昭島市立光華小学校校長）

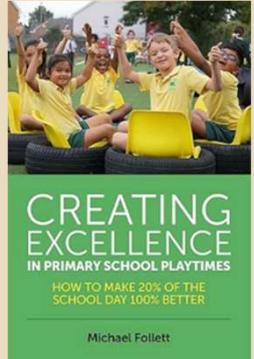
※五十音順



Michael Follett氏



英国におけるプレイワークと学校の遊び環境改善を牽引してきた実践家である。地方自治体初の専任遊び政策担当官として制度づくりに関わり、全国的な遊び戦略に影響を与えた。2005年からは学校改善アドバイザーとしてOPALプログラムを開発し、2011年にOPAL CICを設立。現在は英国および国際的に学校の遊び環境改革を支援している。



鈴木はつみ氏



山梨不登校の子どもを持つ親たちの会21年。子どもの権利条約とアニマシオン31年。学校事務職員人生42年。著書『ゆっくりでいいんだよー』(新日本出版社)。22泊車中泊の旅を達成。標高680mの山小屋暮らし。

野井真吾氏



日本体育大学 教授、子どものからだ研究所 所長、博士(体育科学)。子どものからだと心・連絡会議 議長。教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どもの“からだ”にこだわった研究を続けている。

眞砂野裕氏



昭島市立光華小学校長。日本学校体育研究連合会参与。日本トップリーグ連携機構A級プレイリーダー、ミズノプレイリーダーマイスターとして全国に運動遊びを届けている。所属校の校庭にプレーパークを常設。

参加申込方法

参加費：会場参加 (書籍なし) 2,000円

会場参加 (書籍つき、330円お得です) 4,200円

オンライン参加 (書籍なし) 2,000円

懇親会 5,000円

参加申込：<https://opalforum2026.peatix.com/>

参加申込・チケットの購入は、Peatixよりお願いいたします。



いずれも先着順とさせていただきます。託児はありませんが、お子様の同伴も可能です。

【会場】

日比谷図書文化館 〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」 B2出口より徒歩約3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」 A7出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」 C4出口より徒歩約3分
- JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

